

お取引先のライフサイクルにあわせて



法人のお客さまへ

当行は、お取引先の発展を第一と考え、日常の経営相談や資金繰り相談に加えて、創業期、成長期、成熟期等の「ライフサイクル」に応じた経営課題の解決策を提案する「ソリューション営業」を展開しています。



678件の商談が行われ、盛況だった「エコビジネスマッチングフェア2013」(平成25年6月19日、琵琶湖ホテル)

ビジネスマッチング

企業同士の「ニーズ」をマッチングして、新しいビジネスの流れ、「商流」の創出を支援するため、「**ビジネスマッチングサービス**」を行っています。

地域に根ざした金融機関としての幅広い企業ネットワークと当行支店網を活用し、法人・個人事業主の皆さまのご要望に沿った企業を紹介候補先としてご提案、お取引先の業績向上をサポートしています。

「エコビジネスマッチングフェア2013」を開催

環境に特化した商談会「**エコビジネスマッチングフェア2013**」を、平成25年6月19日に開催。今年で6回目です。

新エネルギー・省エネルギー、リサイクル、環境土木建築など6テーマに89社・団体が出展、1,780名の来場があり、熱心な商談が繰り広げられました。参加したお取引先からは、「新しいビジネスパートナーが見つかった」「次回も参加したい」とご好評をいただいています。また、新たに「アジア進出サポートコーナー」を設置しました。

「地方銀行フードセレクション2012」に参加

平成24年10月23日～24日に、東京ビッグサイトで開催された「**地方銀行フードセレクション2012**」に参加し、当行のお取引先2社にご出展いただきました。

全国から地方銀行のお取引先620社の食品関連企業が出展、来場者は2日間で1万名を超える盛況ぶりでした。



「食の商談会2013」を開催

地元産の安全で美味しい優れた商品・食材の販路拡大による地場産業の振興を目的とした「**食の商談会2013**」を、西日本シティ銀行、肥後銀行との共催により、平成25年1月25日に開催しました。当日は、食品関連企業72社が百貨店などの大手バイヤー11社と171件の個別商談を行いました。

「滋賀の魅力発信ファンド」

「観光事業」を投資対象とした「滋賀の魅力発信ファンド」に取り組んでいます。「滋賀」の「自然」、「食」、「歴史」、「産業」などの地域資源を「観光」と融合させ、地域ブランドの魅力向上や地域資源を活用した新商品・サービスの開発・提供に取り組む事業者を支援するものです。

投資先としては、黒壁ガラス館（滋賀県長浜市）を運営する株式会社黒壁のブランド力向上や、生産量が激減している淡水真珠産業の復活を目的としたファンドなどに投資いたしました。

「アジアゲートウェイ1号 投資事業有限責任組合」

独立行政法人中小企業基盤整備機構による新事業開拓促進出資事業において、三井住友トラスト・インベストメント株式会社を無限責任組合員とする『アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合』に出資し、平成25年3月に組合契約を締結しました。グローバル展開する中小企業に投資を行うとともに、海外市場開拓等のハンズオン支援を行い、投資先企業の海外事業拡大と企業価値向上を目指しています。

医療開業・経営サポート

平成17年10月から、地域医療の発展を目的として、開業を希望する医師を支援する専門部隊「医療開業サポートチーム」を設置しています。

開業を希望される医師に対しては、開業地情報の提供、診療圏調査、資金調達のサポートをしています。

また、開業後には医療法人設立や医業承継（事業承継）などのサポートをしています。

6次産業化セミナー

平成25年4月11日、滋賀県、野村アグリプランニング&アドバイザーズ株式会社と連携し、農林漁業の6次産業化の普及を目的とした「6次産業化セミナー」を開催しました。農林漁業者が生産（1次産業）、製造・加工（2次産業）、販売・流通（3次産業）を一体的に行うことや、2次産業者・3次産業者と連携し、地域ビジネスや新産業の創出をサポートします。農林漁業の6次産業化などを通じて、農林漁業・地域経済の活性化に取り組んでいます。

		企業のライフサイクル別アプローチ				
		創業期	成長期		成熟期	転進期
解決策 企業の主な課題と （課題） （解決策）	資金調達 営業力強化		規模の拡大 社内体制の整備		経営革新 主力商品見直し	売上減少 経営者の生活の保障
	情報収集 販路開拓	営業拠点拡大 財務対策	人材の採用・育成 販路開拓		二次創業 後継者育成	財務対策 後継者への承継
事業の ソリューション	ビジネスマッチング(売り) ニュービジネス支援 産学官・金連携 公的サポート活用支援	ビジネスマッチング 海外進出サポート 公的サポート活用支援	M&A(買い) 貿易取引サポート		ビジネスマッチング 海外進出サポート ニュービジネス支援 産学官・金連携 M&A(買い)	ビジネスマッチング M&A(売り)
財務の ソリューション		クーポンスワップ・ 通貨オプション	販売先開拓・ 与信管理支援		温室効果ガス・ 光熱費削減支援 クーポンスワップ・ 通貨オプション	利益平準化 ソリューション 販売先開拓・ 与信管理支援
資産の ソリューション		企業不動産戦略 支援(買い)	BCPサポート		事業承継対策 資産承継・ 信託代理店業務 BCPサポート	企業不動産戦略 支援(活用) 在庫・動産ソリューション 企業年金
経営改善支援の ソリューション		格付コミュニケーションサービス				事業再生支援 第二会社方式 事業再生型M&A 債権譲渡 民事再生 事業承継
			企業経営支援 経営改善計画 の策定サポート 弁護士、公認会計士 税理士、コンサル会社等 外部専門家との連携		企業再生支援 中小企業再生 支援協議会の活用 動産担保融資(ABL)の活用 DDS、DES活用 による金融支援	

お取引先のライフサイクルにあわせて

「ニュービジネス」を育成

お取引先の「新たな成長を実現するニュービジネス(新規事業)」の育成のため、①ニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携、②「サタデー起業塾」の開講によるニュービジネスのヒントを提供、③多様な資金ニーズにお応えする「しがぎんニュービジネスサポート資金」や「滋賀ベンチャー4号ファンド」による出資など、幅広く活動しています。

ビジネスフォーラムサタデー起業塾

環境や医療・健康、地域活性化、中小企業連携などのテーマに沿って、各分野で活躍されている経営者の講演、専門家による各分野の最新動向の紹介などを行い、旺盛な起業家精神をサポートしています。

今年で14年目となる平成25年度「ビジネスフォーラムサタデー起業塾」を5月にスタートしました。今年度は、新たなプログラムとして、分科会を加え、より実践的なビジネスアイデアを生み出す内容とし、平成26年2月までに5回、毎回土曜日に開催いたします。

しがぎん野の花賞

平成24年度「しがぎん野の花賞」として5企業に総額50万円を贈呈、これで、同賞創設(平成15年)以来の累計は73先、総額730万円となりました。

「しがぎん野の花賞」は、産学官(産産含む)連携で、ニュービジネスに取り組み、成果を上げられた「サタデー起業塾」の受講生を表彰するもので、当行創立70周年を記念して創設しました。



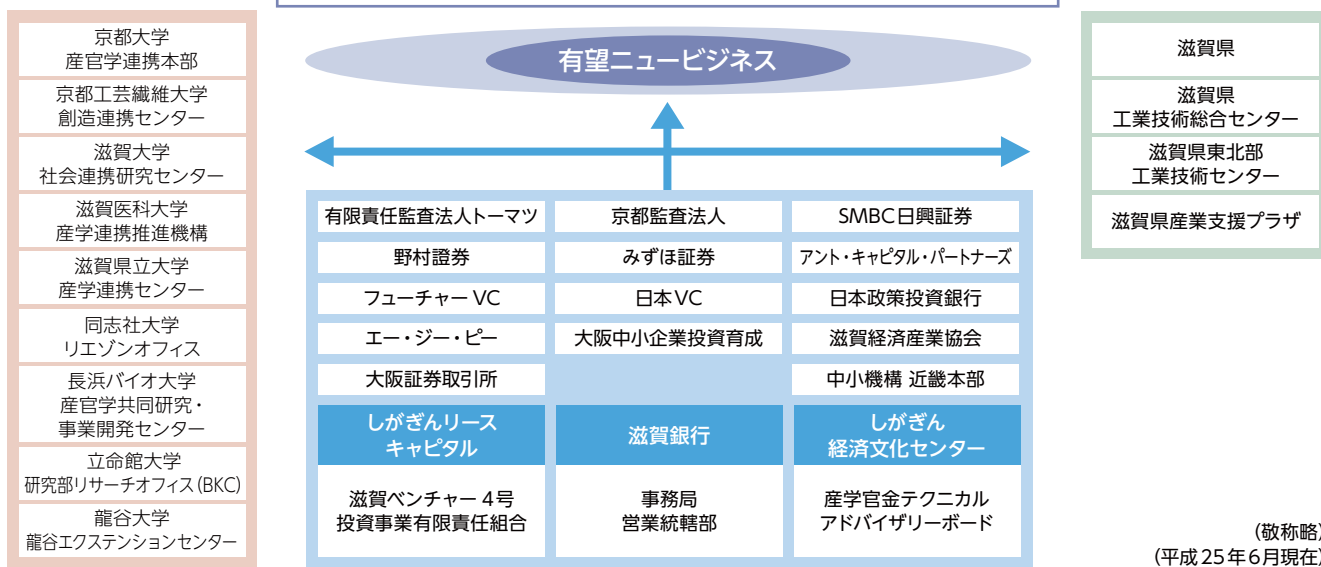
しがぎん野の花賞贈呈式

しがぎんニュービジネスサポート資金

起業家の皆さんの多様な資金ニーズに迅速にお応えするため、原則3,000万円を上限として無担保でご融資する「しがぎんニュービジネスサポート資金」を取り扱っています。

平成25年3月末現在の融資実行累計は103件、22億5,100万円に上っています。

しがぎん ニュービジネス支援ネットワーク 野の花応援団



(敬称略)
(平成25年6月現在)

産学官金テクニカルアドバイザーボード

安田昌司(滋賀県立大学 産学連携センター 教授)
牧野圭祐(京都大学 名誉教授 総長特別補佐)
中谷吉彦(立命館大学 産学官連携戦略本部 副本部長)

田嶋邦彦(京都工芸繊維大学 創造連携センター センター長)
和田隆博(龍谷大学 龍谷エクステンションセンター センター長)

お取引先の環境経営をお手伝い

環境や生物多様性保全の取り組みは企業の持続可能な発展にとって不可欠です。当行は、企業経営に環境保全を取り込んだ「環境経営」に取り組まれるお取引先を支援しています。

「しがぎん琵琶湖原則 (PLB)」

琵琶湖をはじめとする地球環境を守るため「しがぎん琵琶湖原則 (PLB=Principles for Lake Biwa) (以下、PLB)」を策定し、この原則への賛同をお取引先に広く呼びかけています。

「PLB 格付」

「PLB」にご賛同いただいたお取引先には、当行が「環境を主軸としたCSR経営に関する資料」に基づいて、独自の評価基準により5ランク (L1～L5) の環境格付の評価を行い、環境保全への取り組みに役立てていただいています。

「PLB 格付BD」

お取引先の生物多様性保全に向けた活動の支援を、との願いを込めて、当行独自の生物多様性格付を行っています。

格付は「豊かな生物多様性の継承と自然共生社会の構築」に賛同し、格付取得を希望されるお取引先の「生物多様性配慮」への取り組みについて一定の指標により測定・評価します。



「琵琶湖原則支援資金 (PLB 資金)」

環境や生物多様性の保全に取り組まれるお取引先へのご融資には、取組状況を把握して決定した「PLB 格付」と「PLB 格付BD」に基づいて、最大年0.6%の貸出金利引き下げを行っています。

平成25年3月末現在の同資金の融資実行累計は1,278件、総額289億円となりました。



「カーボンニュートラルローン 未来よし」

琵琶湖の環境と生態系保全を目的に、お取引先の温室効果ガス削減を促進する「カーボンニュートラルローン 未来よし」を取り扱っています。

お取引先が環境対応型金融商品を活用して「太陽光発電システム」等を導入、削減した温室効果ガスの排出量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に換算した金額を琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の放流事業の資金として拠出しています。



太陽光発電セミナー

「太陽光発電セミナー」を滋賀県との共催で平成24年10月17日、開催しました。

平成24年7月に開始された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により、メガソーラーの建設計画が相次ぐなど、特に太陽光発電についてお取引先の関心が高いことから、制度に対する取組状況や、設備導入事例、電力会社との電力購入契約手続や留意事項など、実例を交えた情報を提供しました。

再生可能エネルギーの固定買取制度開始以降、太陽光発電事業向け融資は、滋賀県内において100件を超える実行となりました。(平成25年3月末現在)

でんさい(電子記録債権)がスタート

平成25年2月に、手形に代わる新しい決済手段・サービスとして、「『しがぎん』でんさいサービス」の取り扱いを開始しました。でんさいは、全国銀行協会が設立した電子債権記録機関「株式会社全銀電子債権ネットワーク(でんさいネット)」に記録される電子化された新たな金銭債権であり、紛失や盗難の被害が避けられるほか、印紙税や管理コストが不要なうえ、インターネット上の取引として事務作業の軽減も可能なことから、将来的な決済インフラの一つとして活用が期待されています。